

2021年11月11日
株式会社ちゅピCOM

ローカル5G (Sub6帯)とICT を活用した 教育 DX (顔認証・VR 技術)の実証実験を実施

株式会社ちゅピCOM(本社:広島市中区土橋町代表取締役社長・CEO:浅井幹夫以下「ちゅピCOM」)は、廿日市市と広島工業大学と結ぶ次世代の地域情報基盤の研究に関する3者連携協定書に基づき、それぞれが持つ課題解決に向けた実証実験を行います。

これからも、ちゅピCOMは地域課題の解決に向け、地域内の自治体や企業と連携し、サービスの実現に向け取り組んで参ります。

1. 概要

将来の広域利用を見越したローカル5GのSub6帯では初となるマクロセル型の基地局での実証実験を行います。現在ローカル5Gの免許制度では、Sub6帯・ミリ波帯のいずれにおいても、「自己土地利用」を基本としており、「広域利用」は認められていないため、来年度以降の「広域利用」制度緩和を見込んだ電波特性の調査を実施いたします。

実証実験は弊社が全体コーディネートを行い、広島工業大学のキャンパスを利用して行います。

2. 実証実験内容(計画)

① 学生出欠管理

AIを活用した「独自の顔認証デバイス」と「サーモグラフィ」の組み合わせカメラを教室入り口に設置し、学生の健康状態と同時に講義への出欠状況を確認します。

② XR 技術活用

授業におけるXR技術活用の有効性を確認します。

VRとARの技術を掛け合わせたもので、現実世界と仮想世界の両方を同時に体験。

画像テクノロジーや次世代センサーなどを使って、リアルな空間にバーチャルの世界を表現します。

③ ローカル5G 検証

ローカル5Gの通信速度や遮蔽物の影響など、環境による電波特性を測定検証する。

例:窓ガラス、人体、建物 など

3. 実験期間・フィールド

■ 期間

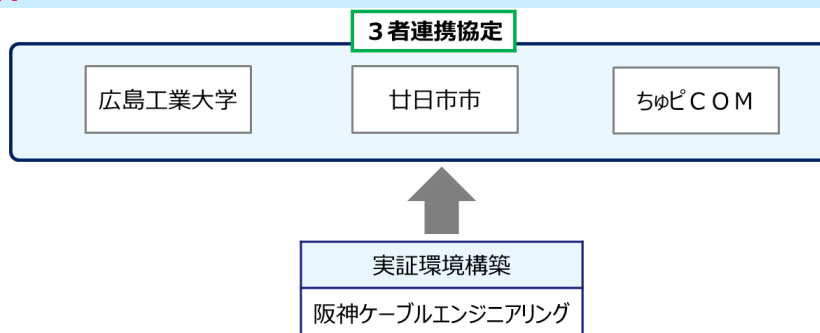
2021年11月中旬に基地局設置予定

実験は最長2021年12月中旬までとする。

■フィールド

広島工業大学五日市キャンパス（広島市佐伯区三宅 2-1-1）

4. 実証実験体制



【実証実験協力会社の役割】

会社名	役割	詳細
阪神ケーブルエンジニアリング(株)	ローカル5Gシステム提供	ローカル5G(Sub6)の機器提供ならびに実証実験免許取得

【参考:企業概要】

社 名:株式会社ちゅぴCOM

所 在 地:広島市中区土橋町7番1号

代 表:代表取締役社長・CEO浅井幹夫

設 立:平成7年7月

開 局:平成9年2月

資 本 金:1億円

主要株主:(株)中国新聞社、(株)エディオン、JA広島市、中国電力(株)、(株)中国新聞文化事業社 ほか 計39団体

U R L:<https://www.chupicom.jp>

—————< 本件に関するお問い合わせ先 >—————

株式会社ちゅぴCOM	
報道機関の方	事業企画部 藤田・天野 TEL082-296-5551
一般のお客さま	ちゅぴCOMお客さまセンター TEL0800-555-2525